

核データ { 情報 } 専門部会データ検索システム
 { 評価 }

ワーキング，グループ第1回会合議事録

日 時 昭和44年7月15日(火) 1:30 ~ 5:00
場 所 原研東海研究所 29号室
出席者 更田，浅見(哲)，團合(NAIG)，山越(船技)，加藤
 金森，五十嵐，中川，河原崎，岡本
議長 更田， 書記 岡本

議 事

1. この会の進め方について話のあと議長よりこのW, G.の考え方についての話があった。このW, G.の性格は核データ収集検索のための“器”を用意することにあり，COMFORDはすでに出来上っている“器”の例である。SCISRS I (将来はSCISRS II)から得られたMagnetic Tapeの内容をplotするプログラムなどの整備もこのW. G.の作業内容と考えてよいであろう。

“器”を考える場合，データのタイプはNumerical と Alphanumeric とに分けられ，対象とする範囲としてNeutron Data, Other Nuclear Data, Other Miscellaneous Data などが考えられ，また利用目的からはNuclear Physics, Reactor Design, Shielding などに分れると思われる。

W. G.の進め方の案としては①他の“器”の調査，②分類，検索，その他の一般の調査，③将来への構想，④“器”の作成に分けられる。

この後General Discussionがあった。

- ① 世界にあるデータの収集，検索とこのW, G.との関連，さらに収集，検索されたDataを使用する側と我々との関係——例えば，SCISRSのデータのplot 依頼など

- ⑧ COMFORD への入力は User が行う。FP と共鳴パラメータを集めるグループから COMFORD の INPUT FORMAT を要求している。一本の Tape に入れる時には台帳の作成が必要である。
- ⑨ 外への Service について、まず W. G. の守備範囲を決め、その範囲内での Service に限るべきである。
- ⑩ SCISRS II に対する考え方は委員会で決めよ。
- ⑪ GIANT およびデータシートとの関係は、現在の所未定である。
- ⑫ 遮蔽関係からの積極的な意見ではないが、データは ENDF/B の形で集めたい。しかし現在は核データの収集という点で help したい。遮蔽の方では、例えば Pb のデータといった Standard なものが計算に必要である。
- ⑬ ENDF/B はエネルギーと数値が 1 : 1 の evaluated data であり、この W. G. の取扱いのは Raw Data file から出発したものである。ENDF/B は付録としては種々のものも入っている。
- ⑭ 評価グループで至急に file を作るという真意は何か — Evaluated Data 間の discrepancy を正すことにあると思われる。
- ⑮ Evaluated data の “器” として ENDF/B の日本版 (例えば遮蔽に便利な) を作ることも考えたい。
- ⑯ やはり Raw Data file → evaluated Data file の道でのまず前段を行うべきである。
- ⑰ SCISRS II が完成すると残るものは何であろうか。 → 例えば COMFORD のような sub-file が考えられる。COMFORD のようなものは Retrieval が容易であり、SCISRS II の RED 部分に当るものと考えてよいのではなからうか。
- ⑱ SCISRS I のデータを全てもらって COMFORD へ例えば共鳴パラメータに関するものは、適当な link を作り、INPUT してみたい。
- ⑲ 遮蔽に便利な遮蔽用 COMFORD を考えてもよい。
- ⑳ 遮蔽には charged particle と γ は必要であるが、とくに γ 用のデータは欲しい。ENDF/B には γ は入っていないが、Los Alamos では γ のデータも入れている。しかし当面は狙いを原子炉にしぼり、且つ中性子データに限ることに賛成する。

- ① W. G.の対象とする範囲は、Nuclear Physics, Reactor Design, Shielding の外に Dosimetry が入る。Neutron Source につながる逆過程の情報は必要である。
- ② (n, γ) で出てくる γ のスペクトラムを中性子のあるエネルギー範囲に亘って知りたい。また角度分布も欲しい。 → Belgium から (n, γ) の News letter として色々出ているようである。
- ③ 遮蔽で必要とするデータは炉心設計のデータより severe である。等以上の討論のあと、第2回以降、まず SCISRS I, NEUDADA, COMFORD と SCISRS II, Nuclear Data for Shielding といったことの解説を各講師に依頼し、第3～4回の会合で W. G. の構想を立てることになった。同時に SCISRS I のプログラムも要求していく方向をとる。

次回 8月18日(月) 東海29号室1時30分より

SCISRS I と NEUDADA 五十嵐氏

Nuclear Data for Shielding 金森氏

(COMFORD と SCISRS II 更田氏第2回あるいは第3回)